

コンサート・ムジカ・アウレア コンサートシリーズ

バロックヴァイオリン/ヴィオラ・ダ・ガンバ/チェンバロ による

登録有形文化財
大正ロマン漂う

川口教会聖堂に響くバロック音楽

書架に眠る真珠たちのささやき

演奏家の楽譜を並べている本棚を眺めると音楽史を紐解いているようです。しかし手に入れたものの一度も開かれることなく隅で埃にまみれている楽譜もあります。また、多くの演奏家から忘れ去られた時代も。バロック時代、バッハ、ヘンデル以前17世紀の作品達です。ゆがんだ真珠という意味のバロック、その前期中期のそういった作品達のささやき、いやいやその当時は最先端の作品として時代を謳歌していた彼らに現代の表舞台に出てきてもらい、聖堂でおおいに語ってもらおうと思います。

G.P.チーマ(1570~?)

ヴァイオリンと通奏低音の為のソナタ

J.J.ワルター(c.1650~1717)

「ケリュスの園」よりプレリュード

D.ブクステフーデ(1637~1707)

ヴァイオリンとガンバとチェンバロのためのソナタ

G.Ph.テレマン(1681~1767)

トリオ・ソナタ

J.S.バッハ(1685~1750)

ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ ト長調 BWV1021

バロックヴァイオリン

平井 誠

ヴィオラ・ダ・ガンバ

頼田 麗

チェンバロ

亀谷 喜久子



2012年10月20日土曜日 開演:午後3時(開場:午後2時30分)

日本聖公会大阪教区主教座聖堂 川口基督教会

入場料 前売り3000円 当日3500円 学生1500円

主催 コンソート・ムジカ・アウレア

お問い合わせ 078-582-2232(平井)

cmaurea@hera.eonet.ne.jp (コンソート・ムジカ・アウレア)

ご予約 バロックのいずみ

<http://www.baroque-izumi.com/>

バロックヴァイオリン 平井 誠

京都市立芸術大学音楽学部卒業。在学中よりテレマン室内管弦楽団に参加。主要メンバーとして、国内外の演奏会に出演。1997年、20年間に在籍したテレマンを離れ、在住の神戸を中心にコンサート活動、後進の指導にあたっている。古楽の分野では、2001年からのコンサート・ムジカ・アウレア等、多くの共演者を得、各演奏会を通してたくさんのバロック時代の作品に取り組む。2004年には、ビーバー作曲のロザリオのソナタ集16曲を3回に分けて、2009年には1公演で全曲を演奏。ヴァイオリンを故古武滋野、ヘリー・ビンダー、故ゲルハルト・ボッセ各氏に、バロックヴァイオリンをサイモン・スタンディジ氏に師事。

<http://www.eonet.ne.jp/~brq-violin/>

ヴィオラ・ダ・ガンバ 頼田 麗

相愛大学音楽学部卒業。チェロを日比野忠孝、斎藤建寛の各氏に師事。ヴィオラ・ダ・ガンバ及び室内楽を平尾雅子氏に師事。ロータリー財団の国際親善奨学生としてドイツへ留学。その後スイスのルガーノ・コンセルバトリーにてV.ギエルミ氏に師事。2002年よりバーゼル・スコラ・カントールムに入学、P.パンドルフォ氏のもとで研鑽を積む。

2006年ディプロムコンサートを行い卒業。2007年ドイツの第4回テレマンコンクールにて室内楽部門ファイナリスト及び「バーレンライター賞」を受賞。2008年兵庫県知事グランプリ賞を受賞。2000年、2007年にリサイタルを開催。

2011年結成の「東海バロックプロジェクト」ではバロックチェリストを務める。

「ラ・キュピス」「NADESHIKO」「クロシェット」「アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ」の各メンバー。

チェンバロ 亀谷 喜久子

相愛女子大学ピアノ専攻卒業。オルガンを故R.ヴリーゲン氏に、チェンバロを鈴木雅明氏に師事。カペラ・ノーヴァ、松蔭室内合唱団他にて教会合唱音楽の伴奏を務めた後、1987年オランダ、ズヴォレ市音楽院チェンバロ科に留学。チェンバロ、オルガンをC.ファー氏に師事。デン・ハーグ王立音楽院のS.クイケン、W.クイケン、R.カンジ各氏等のクラスにも随時参加する。在学中、C.ファー氏と「フーガの技法全曲演奏会」をジョイントする等、ポリフォニー作品や初期バロック作品の演奏が評価されてU.M.(ソリスト)ディプロマを取得する。帰国後は日本とベルギー(リンブルク州)にて演奏していたが2005年～2010年介護の為休止。



創立140周年記念ステンドグラス「ケンセマネ」
日本聖公会大阪教区主教座聖堂 川口基督教会



大阪市西区川口1-3-8

地下鉄／中央線または千日前線で「阿波座」駅 下車
⑦号出口(西郵便局横手)より徒歩10分

バス／大阪駅より88(天保山)で川口1丁目下車